

- 1 夕時雨重たき星の草を食む――
- 2 白き湖落葉とろりと浮いており――
- 3 枯草や彗星のくる門の前――
- 4 枯木星赤き川よりのぼりくる――
- 5 白鳥のかすれる空のうすべによ――
- 6 雪うすき地に月面の香あり――
- 7 うすべにの雪わなわなと鈍の空――
- 8 雪ふるや寂しき星のまんなかに――
- 9 白鳥の海の白紙の大いなる――
- 10 海光のあちこち爆せて落下の兔――
- 11 産声のかたちに春の海しなる――
- 12 陽にすこし涙を足して春茜――
- 13 ぜんまいや陽にはかなさの指の痕――
- 14 古草の光を抱きうごかざる――
- 15 暗い目の奥に花咲く星まわす――
- 16 連翹や未明の星に雨のふる――
- 17 糸一本もつれていたり轉れり――
- 18 てのひらに陽の垂直やきんぽうげ――
- 19 ふつふつと星うかびこよ大夏野――
- 20 弓なりの山鈴なりの青時雨――
- 21 夏の草砥ぐ太陽の哀しみを――
- 22 少年の膝ののこりし青岬――
- 23 耳なしの山の夕立においたつ――
- 24 夕焼をとおる童子の白髪よ――
- 25 蝸や琥珀にうつす杜の影――

- 26 ちちふさや海やわらかき星月夜――
- 27 月煌々人家に穀のどよめくを――
- 28 白樺は仆れて小人らが焰――
- 29 黄身ひとつ滑り落ちたる夕花野――
- 30 うつつうつろなる芒よまひるの陽――
- 31 白木蓮ほのぼのうれて鳥の空――
- 32 鳥ほろぶ無風の古里の星まわし――
- 33 口中に鳥の臍を飼うや 寡――
- 34 灰白の異境をすべる一本足――
- 35 鳥窓や水晶丘に耳の風――
- 36 山騷り河耀えり鳥女――
- 37 河女泣く鳥とりに見られなお――
- 38 かげろうの顔のつそりと手長鳥――
- 39 鳥とりの実る木々より乳根垂る――
- 40 時間苔すだく鳥闇わらわらと――
- 41 星商人鳥びっしりと実る木々――
- 42 うごめくや木は木々めくや星捨場――
- 43 鳥木霊せりびんびんとふゆる星――
- 44 おおどかに火水あがなう星喰い鳥――
- 45 あいのかぜ万華橋よりとりとりは――
- 46 とりとりの鳥とりこは万華橋――
- 47 とりとりの鳥とり万華橋たおれ――
- 48 とりとりと星くちうつし火水の木――
- 49 とりとりの鳥のとりこの声がする――
- 50 鳥絶えて万年空の黄水晶――

- 51 男来る橋また橋を虹にして――
- 52 常笑い男は虫に愛されて――
- 53 星砕くごとく静かに虫砕く――
- 54 蕭蕭の明るみ室の一つ虫――
- 55 美しい脚が四葩に延びて聲――
- 56 蒼穹や虫の十字を地に刻す――
- 57 闇に冴ゆ虫に崑崙みえてきし――
- 58 塵殖ゆる月光骨の佇立かな――
- 59 薄膜の空の果てより男虫――
- 60 虹の木にあまた虫ふるユウレシア――
- 61 口中の宮殿みがく虹男――
- 62 目耳口眉鼻月に虫がいる――
- 63 虫の笑みまろばす月をひそと舐め――
- 64 風紋に蝶ぶつかりて目に穴ぞ――
- 65 ぼっくりの虫の影もつほっ雲よ――
- 66 草々の蒼々星になる聲を――
- 67 轟音をふれあわせたる虫の空――
- 68 虫が統ぶ一閃空の眩しくて――
- 69 ころがってゆく海神の翅ひとつ――
- 70 雨音を陽にこめ虫は男になる――
- 71 万緑の森の奥なる風の獄――
- 72 ぐらぐらり光あらぶり風の獄――
- 73 風おらぶ森ぐわらぐわらと日の光――
- 74 ものいわぬ木々らぐんぐん影おがる――
- 75 ぐらゆよんゆんゆんぐらり影おがる――

- 76 どおんどおん木々のもだえる影の国――
- 77 木の光ぐんぐらり影かげおがる――
- 78 風おらぶお前は影だ影の国――
- 79 ぐわらがげら光おがりて影おがる――
- 80 ゆんぐらり風のまだらの影をふむ――
- 81 ぐわらがげら此処よりさきは影の国――
- 82 ぐんぐよん木々うめき木々ふりみだれ――
- 83 ゆんぐらりぐわらがげら影おがる――
- 84 神木のゆうらり男影おがる――
- 85 ぐわらがげら杳なる時の長い舌――
- 86 ぐわらがげら光 木 光 影おがる――
- 87 ぐんゆらり木の洞にすむ影おがる――
- 88 ゆんぐらりお前のうえに影おがる――
- 89 ぐんぐゆら影おがるぐらぐりるぐら――
- 90 ふりかえる木の舌ばかり ぐわらがげら――
- 91 一本の木が倒れある正気かな――
- 92 吾の影まだらもだらに影おがる――
- 93 葉から葉へ光どよめく影をはく――
- 94 万緑の光やつれる影おがる――
- 95 吾の影まだらの蛇と吾の影――
- 96 影おがる光を食らう影の吾――
- 97 うずくまり影のはだえの影光る――
- 98 影わらう影に背をむけ影になる――
- 99 ふりかえり木の一本を打つ光――
- 100 影の国ぬけ万緑の獄をとず――